

## 最優秀賞(個人)

### 結城 勉さん

## 脇山の環境を守るため、率先して不法投棄防止を呼びかけ

ごみの不法投棄による汚染から、脇山校区山間部の河川や地下水などのきれいな水資源を守ろうと、結城さんの呼びかけにより福岡市初となる「不法投棄監視パトロール隊」を平成13年に結成。脊振山系は福岡市の水源であるという認識で、脇山校区の各町内会長とともに不法投棄監視パトロールを、9年間悪天候の場合も毎月欠かさず行うとともに、地域住民による日常的な監視により不法投棄を未然に防ぎ、山の自然を守っている。

また、脇山小学校の環境学習等の講師として授業を行い、環境教育の面でも大きく貢献。授業を受けた子ども達が脇山の自然を誇りに思い、環境を大切にしたいという心が芽生え、通学路のごみ拾いをするようになっていく。この他にも、オイスカでの環境学習など、校区内外であらゆる機会をとらえて環境教育の場を広げている。



## 最優秀賞(団体)

### NPO法人 福岡グリーンヘルパーの会

## どんぐりから苗を育て、遺伝子を守る里山づくり



「未来に美しい豊かな自然を残そう」を合言葉に集まったメンバーで、九大伊都キャンパスでの里山保全活動を10年間続け、自然を大切にする心の育成、啓発を行っている。

九大伊都キャンパス内の「生物多様性保全ゾーン」では、増殖した竹の伐採や自然観察路を設置し、樹木への名札付けを行い、地域子どもたちや、その保護者及び学生と下草刈りや田んぼ作りなどを実施。



また、「どんぐりの森づくり」活動として、地域の理解と協力を得て国内でも珍しい自前の「育苗ハウス」で、この地のどんぐりから植樹用の苗木を育て、遺伝子を継承する森づくりを10年前から行っている。

その他、秋のどんぐり拾いや春の植樹イベント、自然体験学習会も開催し、環境教育・学習にも積極的に取り組んでいる。

## 最優秀賞(事業者)

### 株式会社博多大丸

## 徹底したごみ減量・リサイクルの取組と社員教育

紙の使用量削減や、古紙・缶の再資源化、一般ごみの固形燃料化、厨芥類の飼料化等の徹底したごみ減量・再資源化への取り組みで、1日のごみ量は2~4袋程度。

ISO14001を取得し、エネルギー管理の把握や目標設定がなされ、省エネ管理も徹底。

また、常に環境保全の意識を高めるように自社の環境方針を記載した「環境ポケットマニュアル」を全従業員と取引先従業員が携帯し、環境教育もなされている。

ペットボトルキャップを収集し、ポリオワクチン購入費として寄付する活動も実施。そのCO<sub>2</sub>削減効果をホームページで公開している。

地域の清掃活動への参加や、店舗周辺の花壇を管理するなど、環境美化にも積極的に取り組んでいる。



環境ポケット  
マニュアル

ごみの分割BOX



ユニークな形のペットボトルキャップ収集BOX

## 最優秀賞(学校)

### 福岡市立南当仁小学校

## 給食を残さず食べて、ごみ減量!

学校周辺や通学路に田んぼが一つもない場所のため、子どもたちが自然に触れ合える場として、学校内でビオトープや田畑による自然環境教育を行っている。

生徒がボランティアでビオトープの手入れを行うほか、5、6年生による「環境委員会」が田畑や花壇の世話を行っており、おやじの会も柵作りや草刈り等に協力し、野菜作りを一緒に実施。米作りは6年間継続し、都会に住む子どもたちにとって貴重な経験となり、環境学習に役立てられている。田畑での米や野菜作りを通して食べ物大切さを知り、給食の食べ残しをほぼゼロにしている。

また、給食室から出る調理くずをボランティアの生徒が堆肥化するなど、全校が一体となってごみ減量・リサイクル活動に取り組み、給食室から出る燃えるごみの排出量も1日8袋から1袋程度に減らすことに成功している。子どもたちの環境意識は高く、みんなが率先して行動している。

